

Research：各種調査等による実態

学校の実態	児童の実態	保護者・地域の実態
・13学級 ・児童数350名 ・教員 18名 (男7 女11) ・主幹(2) ・主任(10) ・教諭(6) ・平均年齢39歳 ※令和7年4月末現在	(1) 区学力調査：どの学年・どの教科とも平均達成率は概ね8割を超え、区平均と比べて同等かやや上回っている全国平均を上回っている。特に、第6学年が高い。 (2) 学校評価アンケート：低・高学年ともに、昨年度を下回る項目がいくつかあった。落ち着いた生活については児童自身も課題ととらえている。 (3) 体力調査：全体的に跳力や投力に課題がある。 (4) 進路：毎年、国立や私立、都立中学校への進学希望者が多く、60%以上の児童が進学する。通塾率も高い。	・地域には卒業生も多く、開校90周年行事に関して協力的な方が多かった。 ・学校評価アンケート結果において、保護者の肯定的評価は全項目80%以上で、昨年度よりも大幅に上昇している。 ・学校評価アンケートによる地域からの肯定的評価は下がったが、「落ち着いて生活している」以外は9割前後を維持している。

校長の経営方針

- 学校経営理念【みんなの「誇り」である学校づくり】
- 人と人との関わりを大切に、歴史、文化、自然環境に恵まれた「駒場に学ぶ子」であることに誇りと自覚をもたせ、「よりよい学校生活は自分たちで創る」意識を高める。また、地域の方に関わっていただく機会の創出と情報発信に努め、家庭、地域と共に歩む学校を目指す。
  - 午前5時間制—40分授業で実践すること
  - 『生活指導基準』に基づいた共通指導による授業規律の徹底
  - 主体的・対話的で深い学びを保障する『教師力』の向上
  - 学校裁量の時間を使った「こま研」と「マイプラン学習」の実施
  - OJT研修体制の強化による人材育成(「こまば学び塾」の実施)

目指す児童像

新学習指導要領を踏まえ、「生きる力」の3つの柱である「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の視点から、子どもたちがこれからの時代を生きていくために必要な資質や能力をより明確にするために以下の3点を教育目標(目指す児童像)とする。

- すすんで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健やかな子
- ～こまばのまちとともに～

午前5時間制 一単位時間40分授業を生かすPDCA

駒場BRANDの教育活動

【学習指導】

- 学習指導要領の趣旨に即した授業と確実な時数確保(主体的・対話的で深い学び→振り返りの重視)
- 高品質な40分授業の構築
  - ・発問の精選、時間配分の検討
  - ・めあての明確化
  - ・体験的な活動をできるだけ取り入れた単元構成
- ICTを活用した効率的な授業の構築
- カリキュラム・マネジメントの推進
  - ・教科等横断的な指導計画の作成・実施
  - ・地域資源(環境、人材等)の積極的な活用

【生活指導】

- 共生・共助社会につなぐ人権教育の充実
  - ・規範意識の強化
  - ・時と場に応じた適切な行動についての指導(あいさつ、話の聞き方、言葉遣い、身だしなみ等)⇒思いやりの心の育成、他者意識の向上⇒いじめゼロへ
- チャイムや集合時刻への意識強化⇒40分間の授業時間確保の徹底
- i-checkの分析と有効活用(保護者と共有、方向性の確認)

40分授業を効果的なものにするために

- 生み出された時間を使った授業の準備と教材研究⇒OJT研修(含：こまば学び塾)による指導力の強化と指導内容のデータ共有
- 働き方改革の推進(毎月曜日の学年会等の時間の確保)
- 効率的・効果的な会議の実施⇒三部会→企画会を通じた提案を行う。⇒ペーパーレス化、校務データの共有化 など
- ICT活用スキルの強化と情報モラル教育の充実
- 生活指導の充実

学校裁量の時間

- 『こま研』…年間約30回の自己選択による探究学習の時間
- 『プランニング』…プランニングシートをもとに、各児童が1週間の学習の見直しをもち、目標を立てたり振り返りをしたりする時間
- 『マイプラン学習』…課題の自己選択による教科学習
- 『その他』…個々の多様な幸せと社会全体の幸せ(ウェルビーイング)の実現を目指した、安心安全な学校(教室)づくりに資する活動

特別活動の充実

- 学校行事を通じた全校の一体感の醸成
- 各学級の合言葉(目標)の決定と適切な振り返り、教室環境の整備
- 学級活動や委員会活動等における自発的・自治的な活動の重視
- あおぞら班やクラブ活動等異年齢集団活動の重視

駒場PRIDEの醸成

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	930	980	1015	1015	1015
行事時数	35 1/2	33	38	35	57 1/2	65 1/2
学校裁量(こま研)	30	30	30	30	30	30
(マイプラン・プランニング)	2	7	32 1/2	33	34	34 1/2
(その他)	36 1/2	20 1/4	28 1/4	29 3/4	31 1/2	23 1/2
委員会・クラブ				11	22	22
授業総時数	969	1020 1/4	1108 3/4	1153 3/4	1190	1190 1/2

各学年の週当たりコマ数

	1年	2年	3年
	25	26	28
	4年	5年	6年
	29	29	29

自分から学ぶ姿勢の確立

学校裁量の時間の使い方について

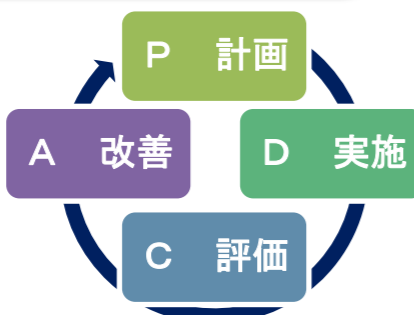
- こまば個人研究『こま研』を設定し、自分で課題を決めて粘り強く探究していく個人内研究学習を年間30回程度行う。原則として、1,2年生は水曜日の5校時、3年生以上は全教職員で対応できるように金曜日の6校時に設定する。
- 3年生以上は「プランニング」の時間(20分間)を金曜日に設定し、1週間の見直しをもって、家庭学習や学習用具の準備を含め、主体的かつ計画的に学習に取り組むとともに、しっかりと振り返る環境を整え、自己認知力や自己調整力の育成を図る。
- 5,6,9,1,2月の火・木曜日の短時間学習(20分間)を、自己選択教科学習を行う「マイプラン学習」とする。個別最適な学びを保証し、自己認知力や自己調整力を育成する。(1年生は1月～、2年生は9月～)
- 生活全般を通して、主体的に考え、行動する児童を育成するために、特別活動の充実を図る。特に、学級活動や児童会活動等において、問題を発見し、その解決に向けて協働して取り組む経験をできる限り多く積み重ねるようにする。

週時程表40分授業(第5・6学年)

	月	火	水	木	金	
登校時間	8:10~8:15	登校				
朝の活動	8:20~8:30	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書	朝読書
朝の会	8:30~8:35	朝の会				
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4	5
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9	10
3校時	10:05~10:45	11	12	13	14	15
中休み	10:45~11:00	中休み				
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19	20
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24	25
給食	12:30~13:15	給食				
清掃など	13:15~13:30	昼会 13:30~13:40	清掃	帰りの会	清掃	
昼休み	13:30~13:45	昼休み	委員会 13:30~14:10	委員会 13:30~14:10	委員会 13:30~14:10	委員会 13:30~14:10
6校時	13:50~14:30	26 13:40~14:20	27	28	28	28
短時間学習	14:30~14:50	マイプラン	マイプラン	マイプラン	マイプラン	マイプラン
帰りの会	14:50~15:00	帰りの会 14:20~	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
下校	15:00	下校 14:30	下校 15:00	最終下校 14:30	下校 15:00	下校 15:00
最終下校	15:45	追加事項 マイプラン学習は5~7月、10月~2月に実施				

改善検討組織

- 主幹会(週1回の管理職・教務主任・生活指導主任とのミーティング)
- 企画会
- 三部会(研究・生活指導・特別活動)
- 教科・教科外部会
- 学年会



対象	評価指標	目標値
児童	区学力調査(学力)	各教科達成率平均値 85%以上
	区学力調査(意識)	「学校の授業はよく分かりますか」に対する肯定的回答平均値 90%以上
	学校評価アンケート	「学校の勉強はわかりますか。」に対する肯定的回答平均値 90%以上
教員	学校評価アンケート	【教員の働き方改革】に対する肯定的回答平均値 85%以上
保護者	学校評価アンケート	教育活動全般に対する肯定的回答平均値 85%以上